

洗骨 (2018)

メディア 映画

ジャンル ドラマ コメディ

製作国 日本

色彩 Color

時間 111分

初公開日 2019/02/09

公開情報 ファントム・フィルム

映倫 G

【キャッチコピー】

家族を
ひとつにしてくれたのは、
骨になった母でした。

【解説】

沖縄出身の人気お笑いコンビ“ガレッジセール”のゴリ（照屋年之）が、自ら監督した短編映画「born、bone、墓音。」を原案に、記念すべき長編デビューを飾ったヒューマン・コメディ。沖縄の離島などにわずかに残る古い風習をモチーフに、バラバラになった家族の再生を、ユーモアを織り交ぜつつ丁寧な筆致で綴る。主演は奥田瑛二、共演に筒井道隆、水崎綾女。

東京に暮らす新城剛は家族を残したまま、ひとりで4年ぶりに実家のある沖縄の離島、粟国島に帰郷する。目的は4年前に亡くなった母の“洗骨”のため。それは風葬という古い風習にまつわるもので、棺で一定期間安置した後、白骨化した骨を親族がきれいに洗い、最後の別れを告げる儀式のこと。実家には父の信綱がひとりで住んでいたが、妻を失った悲しみから立ち直れず、酒に溺れてすっかり腑抜けになっていた。そこへ、名古屋で美容師をしている長女の優子が帰ってくる。しかし大きなお腹を抱えたその姿に、家族一同戸惑いを隠せない。洗骨の儀式が数日後に迫る中、それぞれに問題を抱えた家族の重苦しい時間が過ぎていくが…。

【クレジット】

監督	照屋年之
製作	藤原寛 小西啓介 宮崎伸夫 武富和彦
製作総指揮	白岩久弥
エグゼクティブプロデューサー	片岡秀介
プロデューサー	高畑正和 小西啓介
協力プロデューサー	飯田雅裕 具志堅毅
ラインプロデューサー	金森保
アシスタントプロデューサー	南陽
脚本	照屋年之
撮影	今井孝博
美術	木下沙和美

編集	堀善介	
音響効果	佐藤祐美	
音楽	佐原一哉	
主題歌	古謝美佐子	『童神』
照明	鳥越博文	
録音	横澤匡広	
装飾	石上淳一	
ヘアメイク	荒井ゆう子	
スタイリスト	むらたゆみ	
キャスティングディレクター	杉野剛	
助監督	丸谷ちひろ	
出演	奥田瑛二	新城信綱
	筒井道隆	新城 剛
	水崎綾女	新城優子
	大島蓉子	高安信子
	坂本あきら	高安 豊
	山城智二	高安 悟
	前原エリ	高安マキ
	内間敢大	高安元太（8歳）
	外間心絢	高安小鳥（6歳）
	城間祐司	比嘉永昌
	普久原明	宮城先生
	福田加奈子	仲宗根初江
	古謝美佐子	安慶名君江
	鈴木Q太郎 Suzuki Q Taro	神山亮司
	筒井真理子	新城恵美子